【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和5年9月28日(2023.9.28)

【国際公開番号】WO2021/033736
【出願番号】特願2020-545385(P2020-545385)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　9/26(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　9/26　１０２
Ｃ０８Ｊ　9/26　ＣＥＳ

【手続補正書】
【提出日】令和5年9月20日(2023.9.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＭＤ方向、およびＴＤ方向における入射角６０°でのグロス値がいずれも４５％以上であり、厚み１０μｍ換算の透気度が２５０秒／１００ｃｍ^{3}以下の積層膜であるポリオレフィン微多孔膜。
【請求項２】
前記積層膜が、少なくとも２種類の異なる特性を有する層からなる積層膜である請求項１に記載のポリオレフィン微多孔膜。
【請求項３】
入射角６０°での、ＭＤ方向におけるグロス値と、ＴＤ方向におけるグロス値との平均値が５０％以上である請求項１又は２に記載のポリオレフィン微多孔膜。
【請求項４】
シャットダウン温度が１３５℃以下である請求項１～３のいずれか一項に記載のポリオレフィン微多孔膜。
【請求項５】
空孔率が３５％以上である請求項１～４のいずれか一項に記載のポリオレフィン微多孔膜。
【請求項６】
平均孔径が３５ｎｍ以下である請求項１～５のいずれか一項に記載のポリオレフィン微多孔膜。
【請求項７】
１０μｍ当たり突刺強度が１．５Ｎ以上である請求項１～６のいずれか一項に記載のポリオレフィン微多孔膜。
【請求項８】
ポリオレフィン樹脂Ａを含み、前記ポリオレフィン樹脂Ａに分岐状ポリエチレンを含む、請求項１～７のいずれか一項に記載のポリオレフィン微多孔膜。
【請求項９】
全層の厚みの合計に対する、前記ポリオレフィン樹脂Ａからなる Ａ層の厚みの比率が５０％以下である請求項８に記載のポリオレフィン微多孔膜。
【請求項１０】
前記Ａ層を複数有し、前記Ａ層の合計厚みが６．０μｍ以下である請求項９に記載のポ

リオレフィン微多孔膜。
【請求項１１】
少なくとも片面に無機粒子と樹脂バインダーから成る多孔質層を有する請求項１～１０のいずれか一項に記載のポリオレフィン微多孔膜。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８５】
以下、本発明を実施例によりさらに詳細に説明する。なお、本発明はこれらの例に限定されるものではない。また、実施例１，３，５，７は、それぞれ参考例１，３，５，７に読み替えるものとする。